



成長の優れたスギ系統の成長パターンの解明

育種課長 高橋 誠

今年度より、農林水産技術会議委託プロジェクトとして、「新世代林業種苗を短期間で作出する技術の開発」(平成24年度～平成27年度)がスタートしました。本プロジェクトにおいて、九州育種場では、佐賀県、大分県、宮崎県、鹿児島県、九州大学及び林木育種センター本所と連携しながら、1) 樹幹解析による成長パターンの解明、2) 成長の優れたスギ系統の成長パターンの知見を用いて、第二世代精英樹などを植栽した場合の成長量の改良効果の推定などについて取り組む計画です。

樹幹解析とは、幹の高さ別に円盤を採取して、それぞれの円盤に刻まれている年輪の幅を計測することにより、各個体について植栽後の各年次の樹高と高さ別の幹の太さを明らかにすることです。この解析により、各系統の成長パターンを明らかにすることができます。

今年度は、佐賀県で設定している2箇所の F₁ クローン検定林(精英樹同士の人工交配家系の中から選抜された、初期成長や樹幹形等が優れた個体をさし木により増殖した苗木を植栽した試験地)において、樹幹解析に供試するための材料として、今後第二世代の精英樹の候補となる系統などの伐倒作業を行いました。現在、これらの個体の樹幹解析が進められています。今後は、大分県や宮崎県、鹿児島県に設定されている試験地においても伐倒作業を行い、樹幹解析を進め、成長パターンについてのデータを蓄積していきます。

このように、九州各県などの他機関と連携しながら、第二世代精英樹を植栽に用いた場合の低密度植栽や省力化施業の可能性について検討し、成長が改良された新しい育種苗のよりよい活用方法を提案していきたいと考えています。



打合せ風景



円盤採取位置のマーキング作業



高さ別に採取した円盤(4個体分)